

事務事業マネジメントシート（21年度実績と22年度計画）

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 26 日 作成
21年度決算把握後 平成 22 年 月 日 作成

事務事業名		全国基地協議会参画事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり			所属部	総務企画部	課長名	後藤一男
	施策	6	計画的な土地利用の推進			所属課	総務課	担当者名	飯開輝久雄
	基本事業	16	快適な住環境の整備			所属班	総務・男女共同参画班	(内線)	1218
予算科目		会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	成果優先度評価結果	12
		1	2	1	1	10148		コスト削減優先度評価結果	6
終了、開始年度		☐ 21年度で終了 ☐ 22年度から開始		事業期間		☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返(開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)			

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	・自衛隊や米軍の基地関係における共通問題の調査研究並びにその具体的解決策について、関係団体と連携を保ち、関係住民の生活環境と福祉の向上を推進する。 ・全国基地協議会が設立されてから ・地域住民世帯の増加
【業務の流れ】	・負担金の支出及び会議への参加。
【主な予算費目】	・負担金及び補助交付金
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	なし。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)	21年度実績(21年度に行った主な活動)(DO)	22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
負担金の支出。		負担金の支出。
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標		(単位)
⇒ ア 会議の開催回数	回	イ
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標
演習場隣接地域住民世帯 (すずかけ台、笹原、群、黒石原、新開、東須屋)		ア 隣接地域世帯
		⇒ イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標
演習場に係る悩みがなくなる。		ア 相談者の人数
		⇒ イ
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠		

(2) 各指標・総事業費の推移

	単位	19年度 実績(決算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	21年度 実績(決算)	22年度 目標(当初予算)	23年度 予定	24年度 見込
④ 活動指標	ア 回	1	1	1	1	1	1	
⑤ 対象指標	ア 世帯	3605	3784	3750	3802	3850	3900	
⑥ 成果指標	ア 人	2	3	2	0	2	2	
投資入量	国庫支出金	千円						
	都道府県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	繰入金	千円						
	一般財源	千円	2	2	2	2	2	
	(A) 事業費計	千円	2	2	2	2	2	0
	(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	
	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	
人件費	延べ業務時間	時間	2	2	2	2	2	
	(B)人件費計	千円	8	8	8	8	8	0
	トータルコスト(A)+(B)	千円	10	10	10	10	10	0

総トータルコスト
 全体計画
 ~ 年度
 (期間限定複数年度のみ記載)
 0
 0
 0
 0

谷志市

事務事業名	全国基地協議会参画事業	所属部	総務企画部	所属課	総務課
-------	-------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部 (SEE)

*原則は21年度の後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	☐ 達成した	☐ 達成しなかった ⇒【理由】
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	☒ 目標達成見込みあり ⇒【理由】	☐ 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ・自衛隊や米軍の基地関係における共通問題の調査研究並びにその具体的解決方策について、関係団体と連携を保ち、関係住民の生活環境と福祉の向上を推進する目標を達成する見込み。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由】	☒ 向上余地がない ⇒【理由】 苦情等が伝えられる状態にある。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	☒ 他に手段がない ⇒【理由】 最低限の負担額である。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】	☒ 削減余地がない ⇒【理由】 最低限の負担額である。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】	☒ 削減余地がない ⇒【理由】 最低限の従事時間である。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】	☒ 公平・公正である ⇒【理由】 近隣住民に対応でき、公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】	☐ 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

・自衛隊や米軍の基地関係における共通問題の調査研究並びにその具体的解決方策について、関係団体と連携を保ち、関係住民の生活環境と福祉の向上を推進した。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

</